

被災地で支援の想いを歌にのせて

男声合唱団「グリーンクラブカナダ」が宮城県東松島市で7月15日に行われた「とっておきの音楽祭 in 東まつしま」に参加しました。団員の被災地派遣をきっかけに、東日本大震災からの復興が進む同市へ激励を含めて訪問。団員14人が5曲を披露し、現地の文化協会とも交流するなど歌を通じた支援の輪を広げました。



↑市内9会場900人以上参加の音楽祭で、そろいの白い衣装で歌声を披露。

↓町長は「スポーツに懸命に取り組むことは素晴らしい、今後も頑張ってください」と激励。

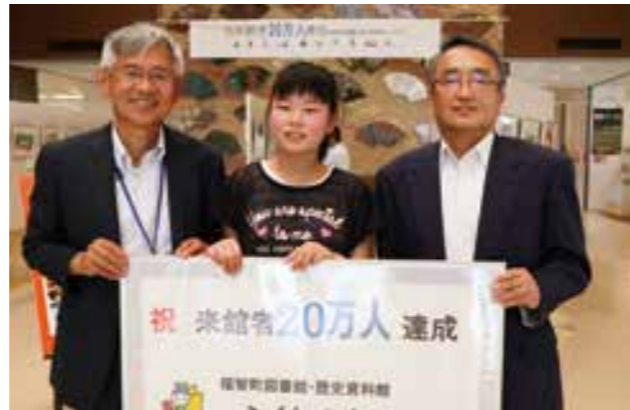


感謝を胸に森くんと小野山くん全国へ

第44回 全日本選手権ポニー大会出場

少年野球の嘉麻ボーイズが、3年ぶりにポニーリーグ全国大会に出場。同チームに所属する金田中1年の森大智くん(写真左)と赤池中1年の小野山結人くんが選抜されました。試合は東京都江戸川区で7月22日に行われ、惜しくも東京のチームに敗れましたが、2人はまだ1年生。今後の活躍が大いに期待されます。

↓井上館長(左)と辻村教育長が迎え記念品を手渡し、笑顔を見せる浦田さん。



地域の拠点「ふくちのち」が来館者数20万人達成

図書館・歴史資料館「ふくちのち」の来館者数が開館1年3か月を経た6月24日に20万人を突破しました。節目の来館者は、小説を楽しみに毎週足を運ぶという上野小6年の浦田侑奈さん。「勉強もできてイベントもある楽しい施設。たくさん本を読んで小学校の先生になりたい」と読書への意欲をさらに高めた様子でした。

↓シロクマやゾウなど旅先で実際に出会った動物の話を変えた冒険話に児童は食い入るように傾聴。



夢と挑戦伝える世界の冒険譚

市場小で冒険家阿部雅龍さん講演会

「単独」と「人力」をモットーに南米大陸自転車縦断やロッキー山脈縦走などの実績を持つ冒険家、阿部雅龍さんが7月12日に市場小で講演しました。旅路での危険や感動、内向的だった幼少期などを赤裸々に語り、児童を冒険の世界へ誘引。長年の目標である徒歩での南極点到達への思いを力強く訴え、挑戦の楽しさとその過程で得られる充実感を伝えました。

陶芸家の指導で自由な発想を形に

上野焼子ども作陶教室

子ども会育成連絡協議会主催の「上野焼子ども作陶教室」が7月8日に金田分館で行われました。毎年人気のイベントに小中学生89人が参加し、上野焼協同組合加盟の12窯元が丁寧に指導。キャラクターや動物、乳児の足型など子どもならではのアイデアがプロのサポートで実現し、自分だけの器を作ることができました。



↑子どもにも親しみやすい、土をひも状にして重ねる手びねりで自由に創作。

有事に備える本番さながらの放水訓練

消防団第2分団防災訓練

毎月訓練を重ねている消防団第2分団(金田)が7月1日に稲荷神社で本格的な防災訓練を行いました。実際の火災を想定した緊張感の中、団員15人は迅速な動作で神社横の防火水槽からホース7本をつなぎ社殿へ放水。訓練後は地域の消火栓・防火水槽の点検と位置確認も行き、有事の出動に備える意識を高めました。



↑訓練を積んだ各団員は統率された動きを見せ、出動から約5分で放水を完了。

↓音域の違うオカリナを吹き分けた全5曲で、口ずさむ声も聞かれた演奏。



演 奏と語りで訴えた人権の重み

同和問題啓発強調月間講演会

7月の強調月間に合わせ、元教師で全国を巡り人権啓発を行う山口裕之さんを招いた講演会が7月13日に地域交流センターで行われました。講演では活動の中で感じた人とのつながりや正しい知識の重要性を強調。写真や映像、オカリナ演奏を交えた多彩な表現で会場の約350人に人権意識の向上を訴えました。